

年賀状エピソードを集めた「年賀状思い出大賞」が 第12回の受賞作品発表と、第13回の作品募集を開始

親子の絆を感じさせる心温まる年賀状エピソードが多数受賞

株式会社グリーティングワークス（所在地：大阪市西区、代表取締役会長：徳丸 博之）は、挨拶状ドットコム（<https://nenga.aisatsujo.jp/>）にて、第12回「年賀状思い出大賞」で受賞した12作品を発表。合わせて第13回「年賀状思い出大賞」の募集を開始しました。親子のきずなを感じさせる作品をはじめ、祖父母と孫の思い出、子供視点の年賀状エピソードなど、大切な人への思いが詰まった心温まるエピソードが多数受賞。また、第12回までの応募総数が10,000作品を突破しました。第13回の募集も2021年4月30日（金）まで実施しています。

■第12回「年賀状思い出大賞」受賞作品発表ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>

■第13回「年賀状思い出大賞」作品募集ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>

■「年賀状思い出大賞」について

挨拶状ドットコムでは、年賀状にまつわる思い出を全国から募集し、審査、発表する「年賀状思い出大賞」を12年前より開始。日本郵便株式会社の後援のもと、年賀状を通じて人との繋がりを感じていただける取り組みとして毎年実施しています。

■親子や祖父母と孫の思い出を描いた作品が受賞

第12回の受賞作品では、大賞に選ばれた親子の深い絆を感じさせるエピソードが過去最高点を記録し受賞したほか、祖父母と孫の忘れられない思い出、子供の視点で語られたエピソードなどが受賞。コロナ禍で人と会えない中、改めて思いを届ける年賀状の良さが伝わります。今回と過去の受賞作品は受賞作品発表ページで読むことができます。



■応募総数は10,000作品を突破。第13回の募集もスタート！

第12回の応募点数は897作品となり、第1回からの応募総数は10,509作品となりました。年賀状の良さを多くの方に知っていただけるよう第13回の募集も開始。応募締切は2021年4月30日（金）まで。コロナ禍で大切な人に会えなかった分、年賀状で交流したエピソードなどもご応募いただけます。



【第13回 年賀状思い出大賞 募集概要】

- ・募集ページ : <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>
- ・応募方法 : 応募フォーム・郵送・メール・FAX
- ・応募締切 : 2021年4月30日（金）まで
- ・発表 : 2021年10月上旬
- ・主催 : 挨拶状ドットコム
- ・後援 : 日本郵便株式会社

■第12回 年賀状思い出大賞 大賞作品について

第12回の大賞には、切っても切れない親子の絆が、海の景色を通して伝わってくる年賀状エピソードが選ばれました。この大賞作品はショートムービーとして映像化しており、第12回の受賞作品発表ページ (<https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>) で見るすることができます。



寝坊した元旦の朝、ポストに年賀状を取りに行くとき、私への一通の封書が届いていた。息子が通う養護学校からの手紙だった。

息子は自閉症。人と関わるのが苦手だ。「大好きだよ」と彼に伝えると「そうだったんだ」という応えが毎回返ってくる……。だから、毎日毎日その言葉を伝えた。

封書を開けると、一枚の年賀状が出てきた。墨をたっぶり付けた太い筆で書かれた文字は、ハガキからはみ出していて、すぐには読めなかった。同封されていた先生のメッセージを読むと、国語の時間に取り組んだ年賀状作りで、息子はハガキに「海」の一文字を書いたとのことだった。「海は好きなの？」と尋ねると、いつもの無表情な顔で「だってお母さんがいるから」と応え、「海」の文字の「母」という部分を指差した。その瞬間、私は真冬なのに身体中が一変に温かくなったことを思い出す。

十二年前の忘れられない年賀状は、十八歳の息子からのラブレター。

【プレスリリースに関するお問い合わせ】
 株式会社グリーティングワークス 担当者: 豊(ゆたか)・小松(こまつ)
 大阪市西区鞠本町 1-5-6 本町辰巳ビル 7F
 TEL: 06-6450-8029 / FAX: 06-6450-8129 / E-mail: press@greetingworks.com